



## 環境マネジメント活動

●国際規格ISO14001:2004に基づく環境マネジメントシステムを構築し、グループ全体が共通認識のもと環境保全活動を推進しています

## ～環境マネジメントシステムの構築～

### 環境保護対策 (地球環境との共生)

シーレックスは創立時の経営理念である「私たちは常に地球環境を念頭におき行動します」を基に、1999年4月にISO14001認証を取得、2005年4月にISO14001:2004をシーレックスグループで取得し、環境保全活動を経営の重要なテーマとして取り組んでいます。

また、2004年度に制定しました新創業宣言に社員の行動基準として「良き地球市民として、地球環境を常に念頭に置き、これを優先して行動する」ことを明記しました。

2005年度よりチーム-6%GSA(グローバルスポーツアライアンス)に登録し、環境保全活動を推進しています。



ISO 14001 JIS Q 14001を10サイトで認証取得



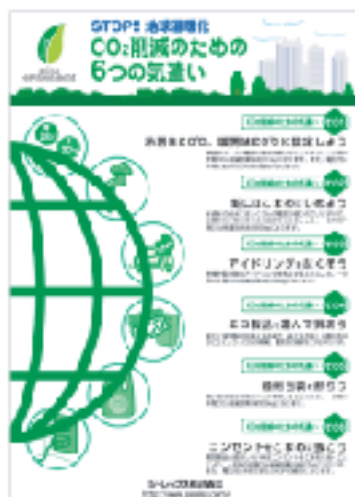
think environment

環境保護対策社内シンボルマーク

### チーム-6%

2005年9月からチーム-6%に法人加入し、企業人、社会人として環境保全活動に取り

組みを促進するためポスターを作成し配布しました。



環境保全活動促進用ポスター

### エコフラッグ(GSA)

スポーツ愛好家は、きれいな水と空気、すなわち地球環境の大切さを知っています。そして、未来世代のためにも、開発やビジネスなどの人間活動が自然生態系を破壊し、

環境を汚染しないような新しい社会を創りたいと願っています。そして、そんな強い思いを持った仲間たちが集まって設立したNPOがグローバル・スポーツ・アライアンスです。



GSA岡田常任理事講演



グローバル・スポーツ・アライアンス  
<http://www.gsa.or.jp/>

## シーレックス環境方針

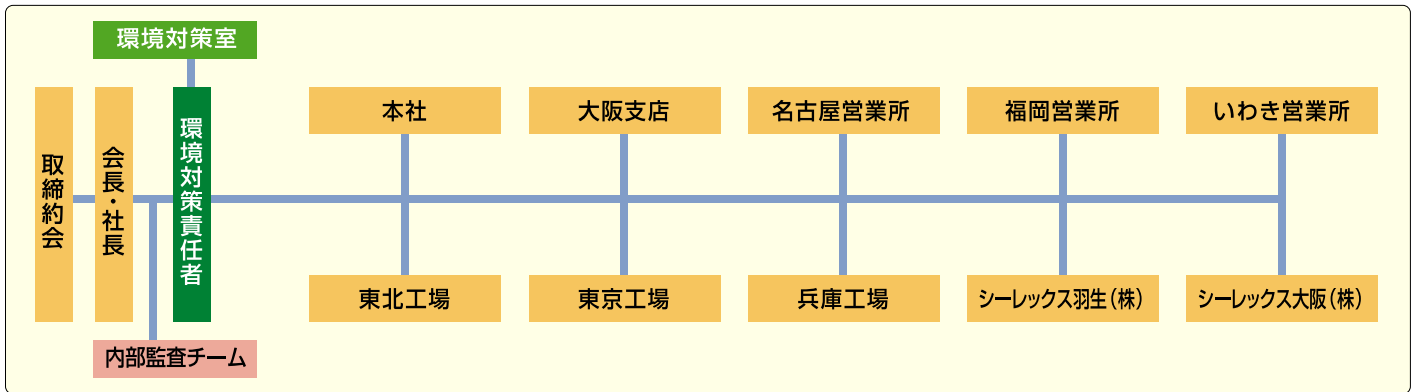
### 基本理念

シーレックスは常に「かけがえのない地球」の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責任であり、義務である」を念頭におき、環境と調和した循環型社会をめざし、企業活動のあらゆる面で、環境保全に配慮し行動します。

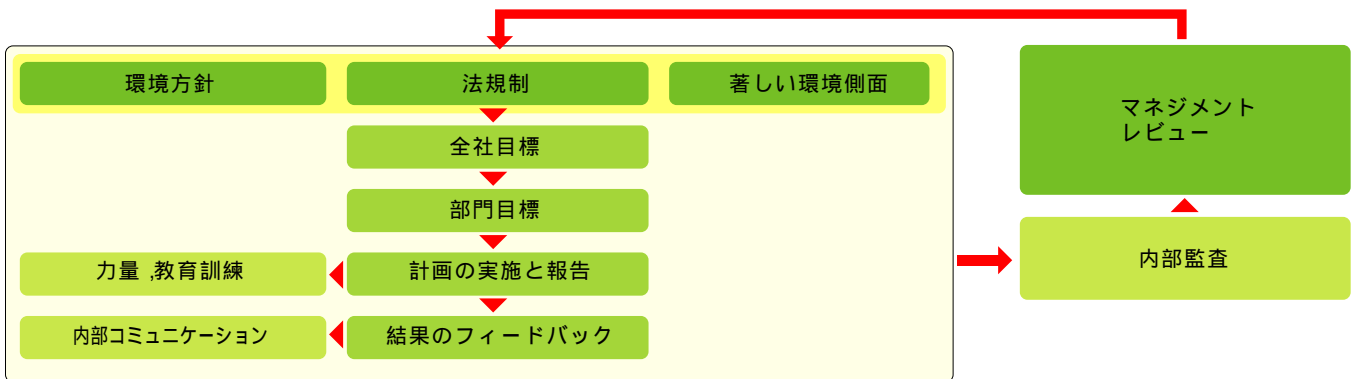
### 基本方針

- 1.シーレックスは企業活動において地球環境の保全を推進するため、組織を整備します。
- 2.企業活動が環境に与える影響を捉え、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、環境保全活動を推進し、継続的改善を図り、環境汚染の予防に努めます。
- 3.環境関連の法律、規制および協定などを遵守するとともに、自主管理基準を設定し環境保全に取り組みます。
- 4.企業活動の全領域で省エネルギー、省資源、リサイクル、廃棄物削減に取り組みます。
- 5.環境に配慮した商品づくりおよび技術開発を行うとともに、グリーン調達を推進を図ります。
- 6.環境監査を実施し、環境管理の維持向上に努めます。
- 7.環境教育を実施し、全社員の環境方針の理解と、環境に関する意識向上を図ります。
- 8.社会とのコミュニケーションに努め、地域社会の環境活動に、積極的に貢献します。

## 環境マネジメントシステムの推進



環境マネジメント推進体制



PDCAサイクル

## ～エコプロダクト・環境配慮型製品～

シーレックスは、企業の社会的責任(CSR)を果たすために、「地球環境との共生」を目的とした環境保全活動に取り組んでいます。再生材料の使用やリサイクル可能ラベルなど、環境への負荷低減に向けた環境配慮型製品をご用意しています。

### シーレックスの環境配慮型製品



#### 大豆インキ

石油系溶剤の一部を大豆油に置き換えることにより、揮発時の大気汚染を防ぎ、脱墨性がよく印刷物の再生紙処理が容易になります。環境にやさしい高品質なインキです



#### 生分解性プラスチックフィルムラベル

ラベル素材と糊の両方が植物由来の原料をベースに作られています



#### 再生紙ラベル

ラベルと剥離紙の両方に再生紙を使用しています



#### 全離解可能ラベル

雑誌などに綴じ込んでいても、シール本体だけでなく糊や剥離紙ごと古紙として再生処理できます



#### 再生可能剥離紙

ラベルを使用した後に残る剥離紙を、産業廃棄物ではなく古紙として再生処理することができます



#### サーマルリサイクル

自社工場から出るタックラベルロス紙や剥離紙を固形燃料化し、発電用原料として再利用しています

## ～環境ビジョン2006年度評価～

シーレックスは環境方針の基本理念を実現させるために、具体的な活動の方針を示しています。

評価基準: 数値化目標については下記の基準で評価

S: 目標を大幅に上回る成果が上がった

A: 目標を十分に達成できた

B: 積極的に取り組んでいるが、目標にいたらなかった

C: 取り組みが不十分

(数字評価は 2006年 6月～12月の実績を基に予測)

方針	目的	目標	評価
法規制の遵守	排水管理を継続的に行う	・定期測定の実施 ・遵法制の評価実施	
	騒音管理を継続的に行う	・定期測定の実施 ・遵法制の評価実施	
	特別管理産業廃棄物の管理を継続的に行う	・定期測定の実施 ・遵法制の評価実施	
	使用禁止物質の購入規制管理を継続的に行う	・遵法制の評価実施	
産業廃棄物の削減、リサイクル化	リサイクル化の推進	・リサイクル率を 50% にする ・廃棄物の分別、保管方法の維持推進を行う。	S
	材料在庫を低減する	・材料在庫金額を 2003年度比 50% 削減する	A
	製品在庫を低減する	・製品在庫を 2003年度比 25% 削減する	B
多層ラベルの開発改良及び拡販	多層ラベルの拡販を行う	・拡販活動の実施 ・多層ラベルの販売を拡大する	B
グリーン調達	エコカーの購入を推進する	・全社保有台数の 100% をエコカーにする	B
	グリーン購入を推進する	・グリーン購入の実施 ・グリーン購入基準の改善	A
	リサイクル可能剥離紙の使用推進を行う	・再生可能な剥離紙タイプの材料を客先に紹介する ・使用量を 2003年度比 18% に増やす	S
CO2の削減	電気消費量の削減	・削減の実施および手法改善 ・2003年度比で 3% 削減する	B
	レスペーパー化の推進	・削減の実施および手法改善 ・2003年度比で 3% 削減する	A
	ガソリン使用量の削減	・削減の実施および手法改善 ・2003年度比で 2% 削減する	B

## ～省資源・省エネルギーをはじめとする 環境負荷削減に取り組んでいます～

生産設備の増強等が大きな要因となり、2006年度のCO<sub>2</sub>の排出量は目標を達成することはできませんでした。エネルギー管理を強化し、省エネルギー活動の推進を継続していきます。

### 省エネルギーへの取り組み

シーレックスは、二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)排出抑制を実現するため、省エネルギーに取り組んでいます。2006年度は「二酸化炭素排出量原単位：2003年度比 3%削減」を環境目標に定め活動をしてきましたが、結果は目標未達に終わりました。

外部機関による「省エネルギー診断」も基に、エネルギーの無駄の洗い出しと改善を図り、二酸化炭素排出抑制に取り組んでいます。

### 廃棄物の再資源への取り組み

廃棄物管理の徹底により、リサイクル率99%を達成しました。関係会社を含め更なる再資源化、廃棄物の減量化、処理費用のコスト削減、有価物化を重要な課題として取り組んでいます。

### ゼロエミッションの認定

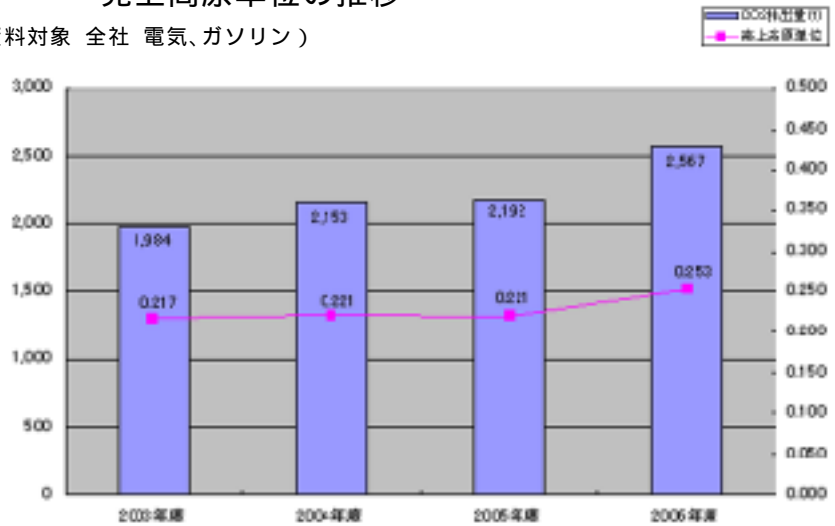
シーレックスでは「再生・再資源化率 (リサイクル率) 98%以上をゼロエミッションと定義し、リサイクルの推進を関係会社も含め取り組んでいます。



ゼロエミッション認定書

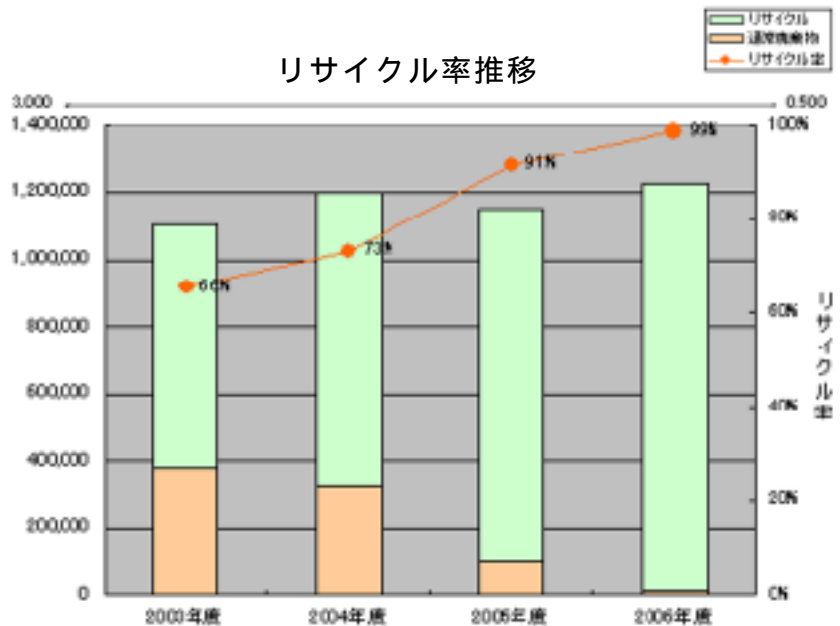
### CO<sub>2</sub>排出量 / 売上高原単位の推移

(資料対象 全社 電気、ガソリン)



(注)CO<sub>2</sub>排出量は環境省に基づき算出  
関連会社の数字は含みません  
売上高原単位は t/百万円

### 廃棄物総排出量および 最終埋立量 /リサイクル率の推移



(注)関連会社の数字は含みません  
通常廃棄物は最終埋立量